

空とぶ くじら君

文：ちこ
絵：ひらり



空とぶ くじら君

文：ちこ
絵：ひらり





sample

いまから おはなしするのは みんなが まだ
うまれていない ずっと むかし…”
くじらが まだ 空を およいでいたころの おはなしです。



「ああっ〜。あさになったぞ!!!」
かぜにのって いつものように ピンクのくじら君が
スイスイと 空を すべっています。
「うーん おなか…すいたよなあ〜」
「うまそうな 雲は ないかなあ〜」

キヨロ キヨロ、キヨロ キヨロ…「あった〜!!!」
ソフトクリーム みたいな雲
くじら君は その雲のところまでいくと
しっぽで ヒョーイと 雲のはしっこを
ひっぱりました。それから おおきなくちで
チュー、チュー すいはじめました。
みるみるうちに おなかのなかに はいって
いきます。



「きょうの あさごはんは とっても おいしいぞ!」
くじら君は もっと ほかに おいしそうな雲が
ないか? さがしはじめました。
そして みつけると あっというまに つぎから つぎへと
くじら君の おなかのなかに はいっていきました。
「あーん。もっと たべたいよ〜」

きょうの くじら^{CA}君は “しょくよくまんてん” です。
ゆうゆうと 空を およいでは おいしそうな雲を
さがしに でかけました。
そして みつけては かたっぱしから たべていきました。
「あーん。もう雲^{CA}が なくなっちゃったよ〜」



おなかの すいている くじら^{CA}君は どうしても
ガマンが できなくなりました。
それで 「だいこうぶつ」の 雲は あきらめて
ジューツと つぎに なにを たべたら おいしいか？
かんがえました。
「あっ…そうだ!!!」 おもいついたのは
すぐ そばを とんでいる カラスたちでした。

「おーい。までえーっ」

びっくりしたのは カラスたちのほうです。

もちろん カラスたちだって くじら君に

たべられたくは ありませんから

ひっしになって にげました。

でも くじら君のほうが はるかに はやいので
カラスたちは すぐに おいつかれてしまいました。





くじら君が まさに たべようとしたときに “ガタガタ” ふるわせながら
カラスたちがいました。「ぼ・ぼくたちを たべたって おいしくないよ」
「ぼ・ぼ・ぼくねえ。もっと おいしいたべものあるって…きいたことあるよ」
くじら君は おいしい たべものがあると きいて うれしくて しかたが
ありません。

「へえっ。それは なんだい？」 くじら君が ききかえました。

「お お星さま☆ だよ」

「く・くじらさんは お星さま☆を たべたことある？」

「ねえ ねえ…お星さま☆は ピカピカ ひかって
とても きれいだよね。 そのたべたときの コリコリって
やつが そりゃー もう たまらないって ききますよ」
カラスたちの はなしを きいているうちに くじら君は
たしかに カラスより 星☆の ほうが おいしいように
おもえてきました。





「うん、そうだね。こんばん たべてみることにするよ。
カラスくんたち どうも、ありがとう」
カラスたちは くじら君が ごきげんなうちに
さっさと にげていってしまいました。
くじら君は まだ いちども たべたことのない
星☆のことを かんがえるだけで ワクワクしてきました。

さて そのひのよるは それは それは 星☆が
きらめく とでも とでも ステキな よるでした。
ひるねを パッチリしておいた くじら君が
スイスイと およいで さがしています。
「どの星☆を たべたら おいしいだろう?」
「もっと はやく きがつけば よかったなあ…」
くじら君は どれを たべようかと ウキウキ
してきました。

sample





「よーし、この星☆を たべてみよう」 くじら君が えらんだ星☆は きいろに かがやく星☆でした。
いつものように しっぽで ひょいと 星☆の はしっこを ひっぱって ゴックン。のみこみました。
すると 星は おもしろいように くじら君の おなかの なかに はいっていきました。「うん、うまい! うまいぞ!」



くじら君は はじめてたべる あじに「だいまんぞく」です。
「じゃあ こんどは みどりいろの星☆に しょう」くじら君は あっというまに みどりいろの星☆も のみこんで
そのつぎは あおいろの星☆へと おいしそうな 星☆を たいらげてしまいました。



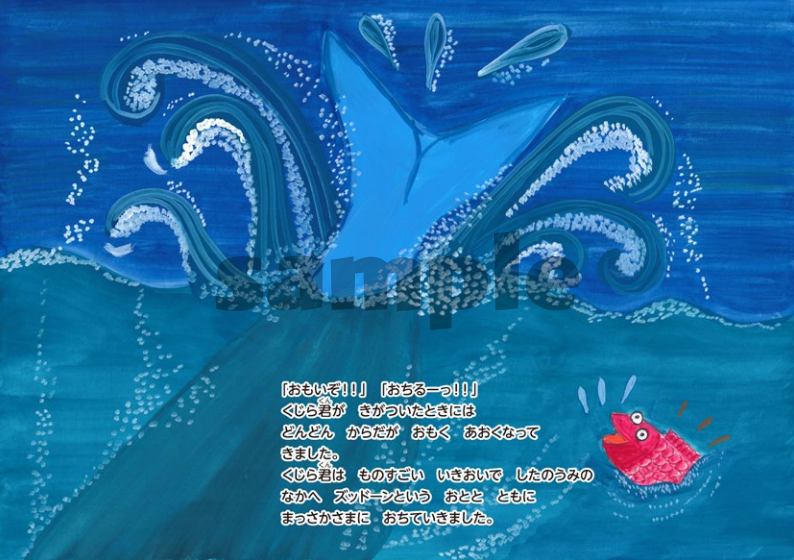
すると そのとき…

「あれ…？ なんだか ヘンだなあ おいしかったんだけど……」

くじら君は しだいに かおが ゆがんで おなかを かかえはじめました。



みるみるうちに ピンクのからだは どんどん
あおくなっています。
「あ・あ・あれっ…？ なにか からだが おもい！」



「おもしろ!!!」「おちるーっ!!!」
くじら君が きがついたときには
どんどん からだが おもく あおくなつて
きました。

くじら君は ものすごい いきおいで したのうみの
なかへ スドーンという おとと ともに
まっさかさまに おちていきました。





こういうわけで お星^ミさまを たべて とても おもくなった くじら^ク君は
このときから うみで およぐようになつたのです。
そして いまでも くじら^ク君は おなかの なかにある お星^ミさまを とりだそうと
ときどき せなかのあなから ピューツと しおを ふいたりするんですよ。

☆おしまい☆

《あとがき》

この『空とぶ くじら君』は、20年ほど前の作品です。

幼い頃『チビクロサンボ』を、何度も読み返して、奇想天外な流れにとても感動した記憶があります。

大きな木の回りをトラがぐるぐる回って、バターになってしまう！　なんて、なんて面白いんだ。

こんな作品をいつか作ってみたいなと思っていました。

それで、出来上がったのが、この『空とぶ くじら君』です。

自分が鍼灸師一年生になった時に、この作品を作ったのですが、子供の患者さんの何人かに読んでもらいました。

そうしたら、「これって本当の話なの？」　って子供達が異口同音に言ってくれました。

これは、最高級の賛辞でした。

さて、この作品を読んでくださった読者の皆さん。　絵を描いてくださった、ひらりさん。　いしだえほんの関係者の方々。

この場をお借りしましてお礼をさせていただきます。

どうもありがとうございました。

文章担当である『ちこ』こと、

猪多謙司

いしだえほん No.0107

空とぶ くじら君

2019年2月22日 初版発行

文 ちこ (猪多 謙司)
絵 ひらり

印刷・製本・発行 石田製本株式会社
〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31
TEL 011-676-4520
<http://i-bb.co.jp/>

©2019 Chiko / Hirari / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909939-06-7

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehon/>



9784909939067



1928771012000

ISBN978-4-909939-06-7
C8771 ¥1200E

定価：本体1,200円＋税

sample